

IPBES シンポジウム「自然共生社会の実現に向けた社会変革」※でのグループディスカッション議論の概要（速報版）

レバレッジポイント	2050年自然共生社会のビジョン	自然共生社会実現に向けた課題	自然共生社会実現に必要な変革
良い暮らしについての多様な観念(ビジョン)の受容	<ul style="list-style-type: none"> 多様性の受容～人、地域文化、お年寄り、感性の尊重 経済成長パラダイムからの脱却～足るを知る、衣食住に困らない、有限な中の豊かさ ウェルビーイング～健康、心豊かな暮らし、笑顔、仲間に恵まれている、相互扶助、100歳でもチャレンジ 働き方～創造、多様性、シナジー・協調の尊重 	<ul style="list-style-type: none"> 価値観の画一化～お金と地位が豊かさの象徴、競争を煽る社会、多様な価値観の否定 現状維持志向 働き方～仕事が忙しすぎる、目の前の事で精一杯 	<ul style="list-style-type: none"> 多様性の受容～考え方、生き方、金銭でない価値尺度、豊かさの再考、共感の尊重
消費と廃棄の総量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 充足の観念～不足ない衣食住、脱物欲、選択の自由 食～おいしい、安定供給、ゼロフードロス 自然エネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> 過剰なマーケティング～広告やメディアが消費者を翻弄 消費者の無関心～生産過程や廃棄後の影響の無視 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者教育、若者への注視 ひとりひとりの消費行動変化～無理なく続けられることから、特別をあたりまえに
価値観と行動の開放・拡大	<ul style="list-style-type: none"> 自然の価値を人間の価値に～自然の危機は人間の危機、脱炭素、澄んだ空気ときれいな星 自然との関係～身近な自然や生きものとのふれあい・共生、人から自然への働きかけ、自然への感謝と畏れ 	<ul style="list-style-type: none"> 人間中心主義（人間に価値のないものを切り捨てる）、目に見えないもの、言葉にできないものの軽視 都市と地方、人と自然の分断～人の心の自然離れ、無関心 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の価値の再認識～公共財としての認知、自然と人間の一体性、自然の新たな価値 社会のモラルと個人のモラルの一致
不平等の是正	<ul style="list-style-type: none"> 不平等や格差の是正～先進国と途上国、都市と地方 	<ul style="list-style-type: none"> 格差、不平等、弱者の切り捨て、個人主義、貨幣経済 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かさの再配分～都市から地方への支援
保全における正義と包摂の実践	<ul style="list-style-type: none"> 分散型社会～強い地域コミュニティと参加、地方都市の適正サイズと自己完結、サステナブルな世界へのローカルの貢献 自然共生に向けたリーダーシップ～環境を語らないと票が入らない、自然共生観点の施策評価と情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会参画への障壁～ゆとりがない、政治権力の集中、多様性への理解不足 施策の分断とトレードオフ～計画の乱立、開発の生物多様性影響、情報不足（生物多様性状況、意思決定に必要な情報） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの能力と参加の強化と尊重：地域固有の目標、ランドスケープアプローチの意思決定、市民参加とソーシャルネットワーク、みんなで汗を流す、ボランティアの普及 リーダーシップ：環境問題を語る/NGO出身の政治家、野心的目標、議員立法/法整備、信頼性の高い合意形成、行政の部門間連携
外部性とテレカップリングの内部化	<ul style="list-style-type: none"> 地域循環・テレカップリング～地産地消、どこでも生産、生物多様性配慮の可視化 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の無関心～生産過程や廃棄後の影響の無視 長いサプライチェーン 都市と地方、人と自然の分断～人の心の自然離れ、無関心 	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消の推進 消費財の生産流通過程の可視化
環境にやさしい技術、革新と投資の確保	<ul style="list-style-type: none"> AIやIoTの適正利用～介護ロボット、自動宅配等 自動翻訳によるグローバルな交流 産業～仕事として成り立つ自然と調和した農林水産業、自然保護ビジネス 	<ul style="list-style-type: none"> ICT（AIやIoT）の影響～農業等における環境配慮不足、便利さ最優先 Society 5.0と共生社会との関係 企業による自然環境保全への投資不足～経済効率、需要の創出と充足の優先、生物多様性への依存についての理解不足 資金不足、後継者を育てにくい 行政支援～企業のインセンティブ強化、自然環境の市民活動への社会全体からの支援 	<ul style="list-style-type: none"> 前のやり方（技術）の見直し 保全のビジネス化～生態系を活かしたスモールビジネス、ビジネスモデルづくり ESG投資 豊かさの再配分～公共財としての自然への投資、企業のサプライチェーン管理、市民団体活動やモニタリング・維持管理への政府からの支援制度、都市から地方への支援
教育および知識の形成と共有の促進	<ul style="list-style-type: none"> 幼少期の自然の遊び、体験、学び 感性を育てる 教育カリキュラムへの環境の組み込み 老若男女助け合い・学びあい 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭が忙しい、寂しい 乳幼児教育～子ども達の自然体験不足、保育園の現場の疲弊 教育の画一化～生物を勉強しなくなっている 情報過多～何が課題かわからない、本当の知識が入らない、行動の躊躇 情報不足～自然と人間の関係、(人のためだけではない)自然の価値と保全の重要性 情報ギャップ～考える・感じる機会がない、イメージと科学的根拠とのギャップ、科学リテラシー不足、生物多様性のわかりにくさ、世代間ギャップ（共生する知恵の喪失など） マスメディアの役割不足 自然科学と経済学の分断 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと教育、子どもの健康重視 義務的ではなく学びを尊重するESD 豊かさの尺度の多様性を考える教育 教育分野の生産性向上 正しい、深い理解の醸成～現場からの学び、科学的根拠の提供 コミュニケーション～可視化、意識化、単純化、関連づけ、相手の言葉で語る、アプリやゲームの利用、低関心層向けのアプローチ、動物園・水族館との協働、未来ビジョンの絵、研究者が変わる 市民の情報リテラシー向上 マスメディア～ビジネスモデル（スポンサーに支えられている）の変革、メディアとの協働 自然科学と経済学の統合
その他	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少 都市、地方と自然環境のバランス～農林業の放棄と自然回帰、野生生物分布拡大、都市と森の融合、生態系回復、保全と利用のバランス、移動の自由 自然災害に強い 不確実性への対応～気候変動等 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少 都市と地方、人と自然の分断～人の心の自然離れ、無関心 	<ul style="list-style-type: none"> 人口問題～人口と財政の縮小を逆手に取る（グリーンインフラなど）、東京解散 不確実性に対する試行錯誤の許容

※同シンポジウムは、環境省及びIGESが主催し令和元年12月21日に東京で開催された。午前中にIPBES地球規模評価報告の概要説明等が行われ、午後一般参加者約80名が5つのグループに分かれて、(1)2050年の暮らし：自然共生社会はどんな社会？ (2)共生社会の実現へ①今の私たちの暮らしと社会が抱えている課題 (3)共生社会の実現へ②解決方法—社会変革(transformative change)はどう起こすか の3テーマを議論した。